

経営比較分析表（平成30年度決算）

静岡県 御殿場市

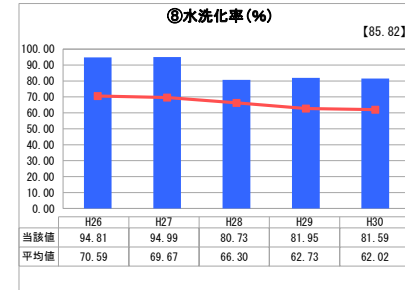
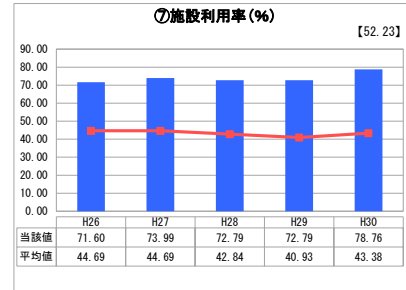
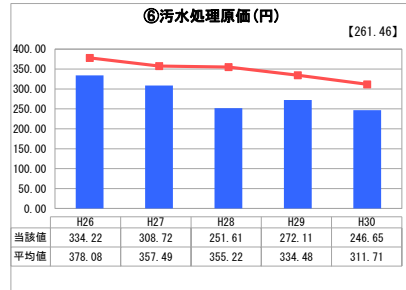
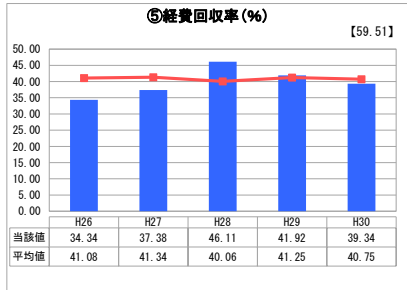
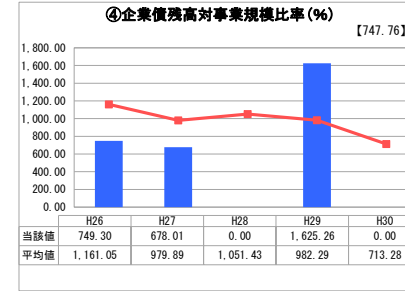
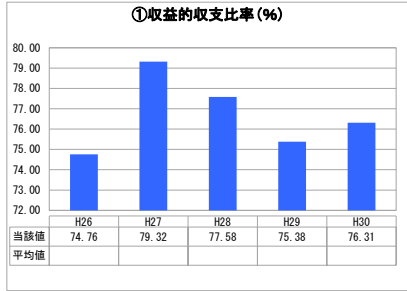
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	1.34	85.84	2,160

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
88,856	194.90	455.91
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
1,179	0.30	3,930.00

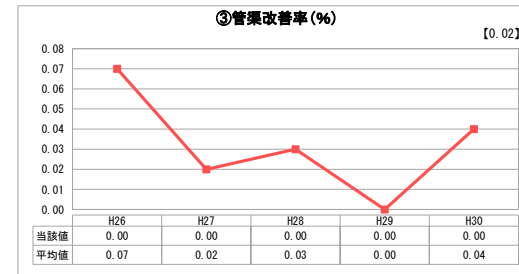
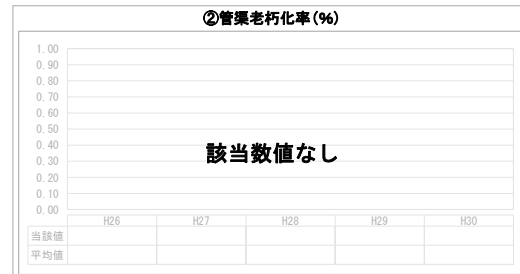
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

【過去の数値について】
④の平成29年度の数値は「0.00」が正しい。

【平成30年度決算状況】
当事業区域はすでに整備が完了しており、新規接続者の大幅な増加が見込めず、⑦施設利用率及び⑧水洗化率は横ばいで推移している。このため、使用料単価の見直しを行うか、経費の大幅な節減を図らなければ、⑤経費回収率にも大きな変動は起こらない。また、①収益的収支比率及び⑤経費回収率が100%に満たない不足分に関しては、一般会計繰入金により補填されている。

2. 老朽化の状況について

当事業は平成12年度より整備を開始し、平成17年度より供用を開始した。このため、管渠施設及び処理場設備が比較的新しく、老朽化は維持管理上の大きな問題とはなっていない。

全体総括

現時点で新規の投資は予定されておらず、大規模な修繕・改築も喫緊の課題ではない。このため、当面は維持管理費と使用料収入との乖離を是正することを目標として、経営を進める必要がある。これを踏まえ、令和元年度に使用料の改定を行った。併せて、平成31年4月より企業会計へ移行したため、これらの結果を踏まえ、改めて中期的な経営についての計画を策定する予定である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。